

# 近鉄新外国人先発初勝利が快挙!

中2日が何だ! 32歳メキシカン「ベリベリハッピー」

日刊スポーツ  
NIKKAN SPORTS

6月20日  
火曜日  
2000年  
(平成12年)  
PM11:30



神部以来25年ぶり首位西武相手に渾身の130球!

今季通算1勝4敗で、完投なし、先発での勝利もなし、防御率7.83。前回登板の17日口ツテ戦では、4回から登板し2回3分の0を2安打2失点。中2日での先発試合の相手は首位西武。試合開始前の近鉄ナルシソ・エルヒラ投手(32)のこのデータを見て、だれがこの大記録を予想できただろう。

9回で出したのは3四球だけ。130球、9奪三振、打者29人でのノーヒットノーラン達成だ。プロ野球69人目で80度目。今季は4月7日の中日パンチに続き2度目。パ・リーグでは1996年の西武渡辺久以来25年ぶり。近鉄では75年の神部年男投手以来25年ぶりの快挙となった。

初回1死から清水、平塚に連続四球を与える不安な立ち上がりだったが、4番の松井を遊ゴロ併殺に仕留めて波に乗った。2回から6回までは3人ずつで抑え、7回に平塚に四球を与えたのが最後の走者だった。

「ベリベリ、ハッピー!」。ヒーローインタビューでは、すばらしい笑顔を見せた。途中からは長男ホヘ君(11)を壇上に挙げてともに喜び合った。「8回くらいにできるかなという気がした」と話したが、昨季メキシカンリーグでノーヒットノーランを2回達成しているだけに、すでに手こたえを感じていた。コントローラがうまくいかず悩んだこともあったというが、10試合目の登板でようやく梨田監督も「ボールが伝わってきていた」という表現で、エルヒラをたたえた。神部投手のノーヒットノーランの時にはマスクをかぶっている「19か、20ぐらい。指を出すのもふるえた」と回想し、ともに感激を分かち合った。快挙を浮上のきっかけにした。

近鉄 西武(8回戦) 近鉄先発のエルヒラは、首位西武相手に1本のヒットも許さずノーヒットノーランを達成。その瞬間、両手を挙げてガッツポーズ!

西	武	0	0	0	0	0	0	0	0	=	0	
20日 = 大阪ドーム												
1	2	3	4	5	6	7	8	9				
近	鉄	0	2	0	0	0	2	0	0	x	=	4